



病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



【名古屋市千種区/名古屋市東山動植物園】

基本方針

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化 |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担 | 5 研修・教育・研究の推進 |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実 | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

患者さんの権利

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利 |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利 | ○診療録の開示を求める権利 |
| ○個人情報保護の権利 | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利 | |

お願い

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

もくじ

巻頭言	2	新任医師紹介	5
ドクターよもやま話	3	医療最前線	6
職場紹介	4	連携医紹介	7
トピックス	5	外来診療担当表	8

巻頭言

令和元年の夏



事務部長
古山 雅博



今年は、例年より少し遅めの梅雨明け以降、厳しい暑さが続いています。夏の甲子園、熱戦の結果はどうなっているのでしょうか。まだまだ暑い日が続きます、皆様方には引き続きご自愛いただきますようお願いいたします。

さて、ご存じの方も多いと思いますが、当名古屋医療センターは、明治11年創設の「名古屋衛戍病院えいじゅ」（旧名：鎮台病院）」を起源とし、その後、昭和20年12月に厚生省へ移管され「国立名古屋病院」として発足、更に平成16年4月「独立行政法人名古屋医療センター」と、名称は変遷しておりますが、名古屋城を仰ぎ見るこの地において、病院運営が受け継がれていることに、その歴史の重さを感じざるを得ません。昭和61年に作成された「国立名古屋病院40年史」にはこれまでの歴史を伝える写真や記事が掲載されています。昭和50年代に取り組みされた病院の近代化整備に関する記事では、建物更新築等の施設

設備整備、更に臨床研究部の設置、助産学校の増科などの体制整備等々、当時のご苦労された様子、また、今後更なる発展を願う関係者の気持ちを伺い知ることができます。1枚の写真には、真新しく整備されたばかりの治療棟病棟や、正に躯体工事が進みつつある外来管理診療棟整備の様子が写され、多くの方々の努力の成果が具現化し、現在も名古屋医療センターの診療機能を支える整備事業であることを伝えています。この写真が撮影された日が昭和60年10月、当時、当方は、そのような関係者のご苦労も知らず、工事現場の傍らを通勤していたこととなります。治療棟病棟・外来管理診療棟とも30数余年を経過し、医療機器等についても、常に時代のニーズに応える必要があるなど、目前の課題も多様に迫っているものと感じています。

趣味で続けている家庭菜園の夏野菜も日照不足で少々元気が無く、連勝したかと思えば敗戦続きのドラゴンズなど気になることもありますが、ひまわりの様に背筋を伸ばし、雑草の様にしぶとく、新任事務部長として、目の前の課題に取り組んでいきたいと「令和元年の夏」このように思っています。

先出の名古屋衛戍病院えいじゅは、現在、「博物館明治村」に移築保存されています。ご興味のある方は、訪れてみては如何でしょうか。



ドクター よもやま話

耳・鼻・のどから スポーツを考える



耳鼻咽喉科医長
みさわ はやと
三澤 逸人



ラグビー W 杯が令和元年秋に、豊田スタジアムなど全国 12 の会場で開かれます。そして来年には、いよいよオリンピックが東京で開催されます。近年スポーツ人口が増え、スポーツが多様化してきました。みなさんと「耳・鼻・のど」という視点でアスリートと一緒に観察してみましょう。

■耳や鼻を保護するアイテム

今話題のフルコンタクトスポーツの代表ラグビーでは「ヘッドキャップ」を着用している選手を見かけることがあります。これは一体、何のためでしょうか？選手の頭部を保護する、という意味では正解です。実は、「ヘッドキャップ」装用のもう一つの目的は耳の保護です。激しいフィジカルコンタクトがあり、スクラムなどでは外耳や耳介に大きな圧力がかかるラグビー。日本語では「カ土耳」とも呼ばれ



柔道家などにも多くみられ、耳がつぶれる事も少なくないスポーツです。「ヘッドキャップ」の装用は脳震盪だけでなく耳をつぶさないことも目的です。

水が相手の水中競技では、耳や鼻への強烈な水の流入から守って

あげる必要があります。サーフィンを長時間無防備で行うと「サーファーズ・イヤーズ」という健康被害を生じます。これは、耳の穴に水が激しく流入する事で耳穴が狭くなり最後にはほとんど閉じてしまうほどの骨の変形が生じます。サーファーたちはこれを防止するためにサーフィン耳栓の装用を推奨されています。またアーティスティックスイミング(いわゆるシンクロ)などで装着する「ノーズクリップ」は鼻の穴に水が激しく流入する事を防いでいます。ただこのような怪我や健康被害ばかりではスポーツはここまで普及して来なかったでしょう。

■耳・鼻・のどが引き出す極限のパフォーマンス

まず耳の大活躍する晴れ舞台として、フィギュアスケートを挙げることができます。アスリートは回転の際、内耳の三半規管と小脳や目と全身の筋肉とを一瞬のうちに連携させてバランスを制御し、極限のパフォーマンスを演出します。鼻呼吸による



コンディショニングはトライアスロンなど長時間の有酸素運動において勝負を分ける決め手となる事もあるでしょう。次に声が重要なポイントとなる剣道についてです。有効打突(いわゆる一本)の条件として気剣体の一致と充実した氣勢があり、どうやら息こらえ発声「メーン」の瞬間には精神と声帯と筋肉が一体となって、のどによる一瞬のパフォーマンス向上を図っているようです。またプロ野球の長距離ヒッターの打力はそしゃく筋の丈夫さに裏付けされるそうです。

■アスリートの耳鼻咽喉力にも注目

ニュースではどうしても筋力や心肺能力にスポットライトが当たりがちですが、これからはアスリートを応援する際、その身体能力、特に耳鼻咽喉力にも注目しながら応援してみたいと思います。



リハビリテーション科

私達は早期から機能回復や廃用症候群の予防、活動能力の維持・向上、摂食嚥下・コミュニケーション能力の獲得、家庭（社会）復帰を目的とした日常生活活動（社会生活活動）獲得のためのリハビリテーションを行っております。平成30年度より病棟チーム型リハビリテーションを導入しており、救命救急センター、脳神経内科病棟、脳神経外科病棟、整



形外科病棟、心臓血管センター、他科に専任の療法士・聴覚士を配属し、現在、理学療法士（PT）24名、作業療法士（OT）11名、言語聴覚士（ST）14名、マッサージ師1名の50名の体制で、チーム医療を担っています。早期離床、早期退院を目指しており、全入院患者さんのほぼ半数がリハビリを受けられています。

令和元年度より服部陽介リハビリテーション科医長の新体制となり、カンファレンスや回診等で医師・看護師等と情報共有し患者さんやご家族に満足していただける医療が提供できるよう努力してまいります。

西5階病棟

西5階病棟看護師長 竹田 錦紀

西5階病棟は総合内科、腎臓内科、膠原病内科、感染症内科、小児科の混合病棟です。内科では高齢の患者さんを多く受け入れています。入院中に身体の機能が低下して寝たきりにならないよう活動を促し、退院前の生活に近づくよう支援を積極的に行っています。ひとりひとりのお声に耳を傾けながら日々笑顔で看護を行っています。

小児科では化学療法を中心に治療をする子どもたちが入院しています。薬による副作用の発見が遅れないよう早い対応と看護に努めています。また、治療により長期療養となる子どもたちが多いため、日常生活のメリハリがつくように支援し、週1回のスポーツで

の気分転換と、学習・レクリエーションを通して闘病中も協調性や社会性を学べるよう支援しています。私たちの病棟は、日々患者さんに安全で確実な医療と看護を提供できるよう医師・看護師・栄養士・薬剤師・リハビリテーションのチーム一丸となって笑顔と信頼関係を大切に関わっています。



トピックス

認定看護師の紹介

感染管理認定看護師



私たち『感染管理認定看護師』は、患者さんやご家族をはじめ、病院職員を含めた病院内にいるすべての人々を感染から守り感染を拡大させないようにするため、また患者さんが安心して療養生活を送ることができるように

様々な職種と連携し感染防止対策に取り組んでいます。

近年、病原体の変化により抗菌薬が効かなくなる薬剤耐性菌が重要視されており、何も対策をとらない場合、薬剤耐性による死亡者数は2050年には現在の70万人から1,000万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると予想されています。このような薬剤耐性菌を減らすための予防策の1つとして手指衛生が大切です。職員全員がきれいな手で患者さんに関わることができるように、必要な物品を取り揃え声かけや職員研修を行い、私たち職員が媒介者にならないように努めています。

また、院内で発生している感染症発生状況の把握や院内の環境ラウンドを行いナースステーション・処置室、患者さんの療養環境などを見て回り、感染対策の実践状況を確認し、より良い環境作りを目指しています。

HIV/AIDS コーディネーターナース

私たち HIV コーディネーターナースは患者さんの受診継続・内服治療継続を支援する為他部門や多職種との連絡・調整窓口となっています。

HIV 感染症は抗 HIV 薬の進歩による予後改善によって、糖尿病や腎臓病等と同様に慢性疾患と言われるようになりました。長期療養の中、生活習慣病等の合併や高齢化による介護・療養先の問題、病気に対する社会の誤解・プライバシーへの不安など患者さんだけでは解決出来ない問題も増えてきました。HIV コーディネーターナースは医師・薬剤師・心理療法士・医療ソーシャルワーカーと連携して患者さんに治療や療養に必要な情報提供や療養上の相談対

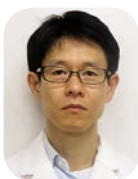


応を行っています。

当院は、東海ブロックのエイズ診療ブロック拠点病院としての役割を担っています。入院・通院されている患者さんへの支援は勿論の事、地域での生活支援の一環として地域支援者に向けた HIV 看護の知識や最新情報の提供等を行う研修や HIV コーディネーターナースと共に患者さんを担当する実務者研修の受け入れも行っていきます。

長期療養の中、患者さんが安心して社会生活を送る為の支援は何か、患者さんとの話し合いを大切に共に考えサポート出来るよう努めています。

新任紹介



常勤医師

血液内科 今橋 伸彦

7月より赴任いたしました、血液内科の今橋伸彦と申します。新しい環境で不慣れなこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



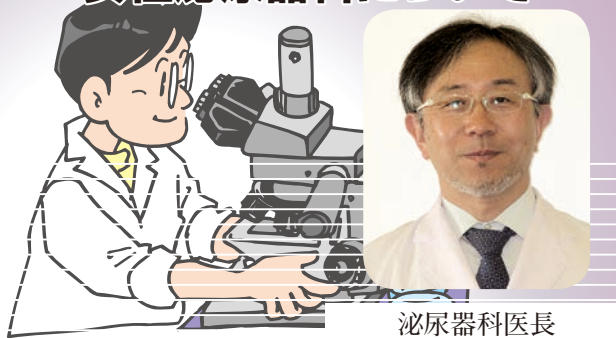
常勤医師

救急集中治療科 金原 佑樹

ER型救急をベースに病院前診療、IVR(血管・非血管)を学び愛知厚生連海南病院より赴任いたしました。微力ながらお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。

医療最前線

ウロギネって何だろう？ ～女性泌尿器科について～



泌尿器科医長
よしの やすし
吉野 能

「泌尿器科」と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるイメージは、「男性の病気を扱う科」ということではないでしょうか？確かに前立腺肥大症、前立腺がんは男性にしか見られない病気ですし、勃起不全など男性特有の性機能障害も泌尿器科の診療範囲です。また、各種尿路がんは女性より男性に多い病気です。このため、「泌尿器科」といえば「男性科」というイメージが一般的には浸透しているかもしれません。

一方で当科関連施設では、1983年から本邦でいち早く女性腹圧性尿失禁に対する膀胱頸部挙上手術に取り組み、また1999年以降はTVTスリング手術の普及、また骨盤臓器脱に対する経膈メッシュ手術(TVM)、さらに最近では腹腔鏡下仙骨靭帯固定術(LSC)に積極的に取り組んでおり、女性骨盤底障害に対する手術治療も泌尿器科の別の主要な分野なのです。

よって、「泌尿器科」とは、女性男性の区別なく、尿路および骨盤臓器の機能的あるいは構造的な異常や疾患を総合的に扱う診療科、というのが最近の正しい認識なのです。

骨盤底障害は、骨盤臓器脱、尿失禁、骨盤痛症候群、過活動膀胱、低活動膀胱、便失禁などの多彩な

病態により、生活の質を著しく低下させます。これに対して産婦人科医、泌尿器科医、消化器科医、看護師、理学療法士等多くの医療従事者が集い、骨盤底疾患に対するよりよい診断・治療法の研究や啓発による女性のQOL向上を目指す動きが最近盛んになってきており、泌尿器科の「ウロロジー」と、婦人科の「ギネコロジー」を合わせた「ウロギネコロジー」という言葉で女性骨盤底障害の診療を総称したりしています。

扱う疾患は多く、様々なタイプの尿失禁(咳やくしゃみで尿が漏れる、トイレに間に合わずに漏れる)、骨盤臓器脱(膀胱・子宮・腸が、出産や加齢、肥満、慢性的な咳や便秘などにより支えが弱くなり膈の出口の方へ下がってくる)、過活動膀胱(急に我慢できないような尿意がおこる)、間質性膀胱炎などが原因の強い排尿痛、夜間頻尿など様々な症状の相談に応じています。これらに対し、当院婦人科あるいは当科関連施設とも協力して薬物療法、理学療法(骨盤底筋体操、膀胱訓練、刺激療法)、手術療法を今後も積極的に展開していく計画で、徐々に診療実績も増えてきています。該当する患者さんがおられましたら遠慮なく当科まで相談してください。





医療法人 ふじたファミリークリニック

院長 藤田 史岳

ホームドクターとして、地域の皆様に信頼していただけるクリニックを目指し、平成21年1月に名古屋市西区に開院した内科・小児科・消化器内科を専門としたクリニックです。

当院では、消化器内科として胃&大腸内視鏡検査、腹部超音波検査、大腸ポリープ切除も日帰りで行います。

胃カメラについては、従来の口から(経口)の内視鏡と鼻から(経鼻)の内視鏡のどちらも選択可能です。

「胃がん」と「大腸がん」は、現在では早期発見・治療により治る時代です。

胃カメラや大腸カメラに不安がありなかなか受けられない方や、以前の検査が辛かった方に、「苦しくなかった」「楽だった」と思っていただけるよう、できるだけ苦痛の少ない検査を受けられるように配慮しており、今後も多くの方に定期的に検査を受けようと思っております。

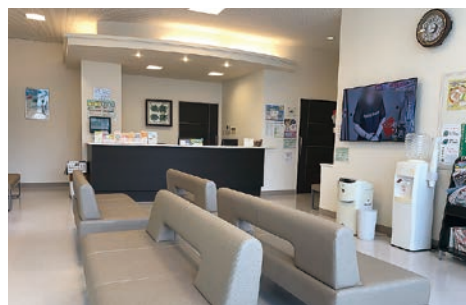
一般内科として高血圧、糖尿病(内服・インスリン治療)、高脂血症、痛風など生活習慣病の治療・予防の他、風邪、アレルギー疾患、禁煙外来、お子様の予防接種まで幅広く診療を行っております。



■保育室
「病児・病後児保育室 みらい」はふじたファミリークリニックの北真向かい1階です。



■駐車場
(15台)



■室内

また、子育てと仕事を両立されるお父さんお母さんをサポートする為、平成28年7月より名古屋市病児病後児デイケア事業を行う病児保育室「みらい」を併設しており、病気で体調の優れないお子さんに家庭的で暖かな保育と治療を行っています。

高度な医療が必要な患者様には、病診連携を通じ迅速に適切な治療を受けられるように、名古屋医療センターをはじめ総合病院への紹介をさせていただきます。

平成31年1月に当院は10周年を迎えました。

今後も小さなお子様からお年寄りの方まで老若男女すべての皆様が抱える病気や悩みに誠実に対処できるようより一層努力いたします。今後ともよろしくお願いたします。

医療法人 ふじたファミリークリニック

所在地：〒452-0806 名古屋市西区五才美町112

電話：052-509-5755

F A X：052-509-5756

診療科目：内科・小児科・消化器内科

U R L：http://www.f-f-c.jp/mirai.html

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

外来診療担当表

Table with columns for 診療科 (Department), 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday). Rows include 消化器内科, 呼吸器内科, 循環器内科, 糖尿病・内分泌内科, 膠原病内科, 腎臓内科, 脳神経内科, 総合内科.

※総合内科受診希望の方で紹介状をお持ちでない場合は、月・火・水のいずれかでご来院ください。木・金は予約のみ。

Table with columns for 禁煙外来 (2階), 緩和ケア内科 (2階), 腫瘍内科 (2階). Rows include 特別診察室, 化学療法室.

※腫瘍内科では、担当医以外にも当番医が静脈路確保、アレルギー対応などを行っています。

Table with columns for 内視鏡室 (2階). Rows include 消化器, 呼吸器.

Table with columns for 精神科 (2階). Rows include 1診, 2診, 3診, 4診.

※初診は月・水・木・金のみ、予約制となります。

Table with columns for 脳神経外科 (2階). Rows include 1診, 2診, 3診.

Table with columns for 外科 (1階). Rows include 1診, 2診, 3診, 4診, 5診, 特別診察室.

※ストマ外来… 火曜1・2・3・4週 ※中山胃腸外科、秋原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。 ※末梢血管外科は完全予約制です (13:30～15:30)。

○外来受付時間 ○初診/午前8時30分～午前11時 ○再診/午前8時20分～午前11時 ○休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始 (12/29～1/3) ○担当は都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Table with columns for 診療科 (Department), 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday). Rows include 整形外科 (1階), 皮膚科 (3階).

Table with columns for 小児科 (3階). Rows include 午前, 午後.

Table with columns for 遺伝 (2階), 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階), 眼科 (3階).

Table with columns for 産婦人科 (3階).

Table with columns for 泌尿器科 (3階), 血液内科 (3階).

Table with columns for 専門外来 (3階), 歯科口腔外科 (3階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).

Table with columns for 放射線科 (地下1階), 放射線 (1階).